

校長室だより

至

福



VOL. 6

(R 6. 9. 27)

9月10日(火)の参観日には、多数の御来校をいただきありがとうございました。夏休みが終わって2週目、当日も気温35度を越え、非常に暑い中ではありましたが、日常の学校の様子に戻った子どもたちの様子をご覧いただけたのではないかと思います。ありがとうございました。

さて、敬老の日、秋分の日、3連休も終わり、今週になり、ようやく秋の気配を感じられるようになりました。これから、読書・食欲・芸術の秋を迎え、過ごしやすい気候となりますが、季節の変わり目は、心も体も不安定になる時期とも言われています。学校での様子等、お子様の話に耳を傾け、寄り添いの時間を大切にいただけると嬉しいです。



学校でも、校内での過ごし方について再度確認し、ケガの防止や心のSOSにアンテナを高くし、教育活動を行ってまいります。



防災週間の取組(9月17日~20日)

めざせ!
あいさつ日本一!!

9月26日の倉敷市内一斉地震対応訓練の日を前に、本校では、17日~20日の4日間を防災週間として、『いつ、どこで起こるか分からない災害』への認識や備え、避難行動について考える大切な時間を過ごしました。火災を想定した避難訓練、更には、予告なしで行った地震を想定した訓練では、全校児童が、放送を黙って聞き、その後の行動も机の下に体を入れたり、落ち着いて行動したりして真剣な態度で臨むことができていました。教職員の動きも再度、確認・徹底することができました。

また、お昼の放送では、各学年代表児童が自学(自主学习)でまとめた「防災」について発表してくれました。自分でテーマを決め、自ら調べまとめたノートは、どれも素晴らしかったです。特に印象に残った言葉は、災害時の「自助」「共助」「公助」の行動をとるという児童の訴えでした。

「^{じじょ}自助」・・・一人ひとりが自ら取り組むこと!

「^{きょうじょ}共助」・・・地域や身近にいる人どうしが一緒に取り組むこと！

「^{こうじょ}公助」・・・国や地方公共団体などが取り組むこと！

私自身、十分にはできていない行動です。大人でも、危機を感じた時、冷静さを失ってしまいがちです。災害時は、多くの人が、避難し苦しい思いをしている中、自分のことだけしか考えない行動をとるとどうなるでしょうか？日頃から、「3つの言葉」を行動に移すことの大切を改めて考えさせられました。今週末、私が住んでいる地域の防災訓練があります。ぜひ、参加しようと思っています。

昨日（26日）は、第四福田幼稚園の園児が津波を想定し、校舎3階に避難をする訓練を行いました。小さな体で階段の上り下りは大変だったと思いますが、手すりを持ち落ち着いて行動することができ大変立派でした。



平成30年の西日本豪雨災害で真備町の堤防決壊した場所につくられた公園です。テレビ放送で児童に紹介しました。ぜひ一度、行ってみてください。

毎月の学習品費の変更について（お願い）

学習品費については、これまで毎月1,000円とし、調整月である7・12・2・3月に過不足の金額を集金しておりました。しかし、昨今の物価高騰による商品の値上げにより、このままでは、調整月の金額高騰による保護者の皆様への負担が大きくなることが予想されます。

そのため、10月分からは、毎月1,500円とさせていただき、調整月での高額な集金額を少しでも緩和できるよう、金額の変更をさせていただきたいと考えています。何卒、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

また、現在、新1年生の就学時健康診断を前に、来年度の物品についての見直しを行っております。今までの既定物品の変更や廃止をすることで、少しでも保護者の皆様のご負担を減らすよう検討しております。詳細につきましては、後日、お知らせいたしますのでご確認ください。